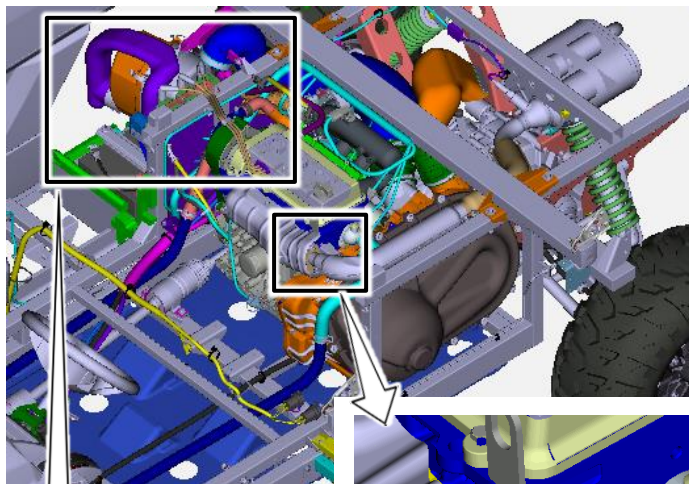


改善箇所説明図



排気管カバー

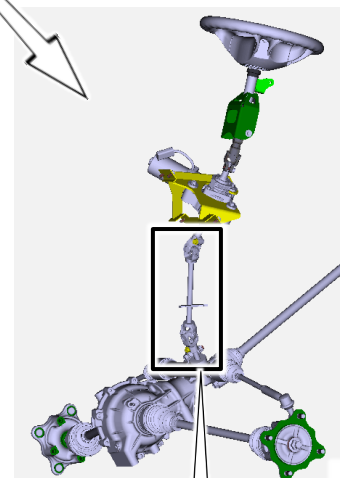
排気管
フランジ

① 基準不適合発生箇所
排気管

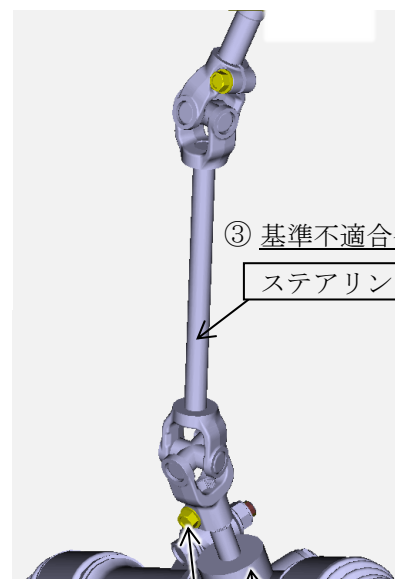
ブリーザー
チューブ

エアクリナー

② 基準不適合発生箇所
キャッチタンク



③ 基準不適合発生箇所
ステアリングシャフト



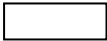
ステアリングギヤ

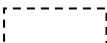
基準不適合発生箇所
結合用ボルト

- ①排気管のカバーにおいて、当該カバーの形状が不適切なため、走行中に飛来した植物等が排気管周辺に堆積することがある。そのため、そのままの状態で使用続けると、走行により排気管周辺が高温となることで、堆積した植物等の火種となり、車両火災に至るおそれがある。
- ②エンジンブリーザチューブのキャッチタンクにおいて、当該キャッチタンクのメンテナンスが不適切なため、使用過程においてキャッチタンク内に水分溜まることある。そのため、寒冷地においては、溜まった水分が凍結し、エンジンのガス等がキャッチタンクへの経路が塞がれることで、エンジンの内圧が上昇し、そのままの状態で使用続けると、エンジンからオイルが漏れ、最悪の場合、漏れたオイルが排気管に滴下し、車両火災に至るおそれがある。
- ③ステアリングシャフトにおいて、ステアリングシャフトの組み付け指示が不適切なため、ステアリングギヤと結合用のボルトが干渉し、不十分な締結となるものがある。そのため、そのままの状態で使用続けると、嵌合部にガタが生じ、ステアリングシャフト側の嵌合部が早期に摩耗することで、操舵できなくなるおそれがある。

改善の内容

- ①排気管カバーを対策品に交換する。
- ②エンジンブリーザチューブをエアインテークダクトに直接繋ぐよう経路を変更し、キャッチタンクを経由した経路を取り外す。
- ③ステアリングシャフトと結合用ボルトを対策品に交換する。

注：  は、交換部品を示す。

 は、撤去部品を示す。

識別：改善済車両には、車台番号横に白色ペイントを塗布する。